

めぐみ

鎮西敬愛学園通信

No. 64 2015 年 秋号

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒 800-0035 北九州市門司区別院 6 番 1 号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒 800-0057 北九州市門司区大里新町 1 1 番 7 号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



いづば

本心にだいたいのものは隠れて見えない

ささやかすぎる日々の中に

かけがえない喜びがある

「いのちの歌」より 作詞 Miyabi

物にさえぎられて光の当たらないところ、目につみにくいところを「陰」と言います。この陰の部分にこそ大切なものがあるという事で、古くから「お陰さま」と言い習わし、さまざまな恵みに感謝してきました。

隠れているものは見ようとしなければ見えません。私が見ている世界は表面に現れたほんの一部分であり、その背後にある見えないところに思いを寄せることで、あらゆるものが今までより大きく深い意味を持って私の前に現れてくるでしょう。

普段なかなか意識することはありませんが、よくよく考えてみると、すべてのものが無量の縁によって成り立っていることに気づかされます。私もまた、私をそのままに包み込む限りないはたらきがあつて、初めて存在できるのです。

この世にいのちをいただき、ひとりでは生きられないこのいのちが今まさにここにある。それは、まぎれもなく「お陰さま」の中に生かされていることの証であり、そこには、広大ないのちの世界が開かれています。この事実を受け止めるとき、何気なく過ごしている今日という日が、そして今この瞬間が、何にも増して尊いかけがえない時間へと変わってくるのではないのでしょうか。

どんなときも陰になり日向になりながら、私と歩みを共にする存在があります。その優しさ、温かさに包まれて、一日一日をお陰さまと喜べる人生を送りたいと思います。

中高部活紹介 (文化部編)

学生生活での充実した時間の一つに部活動があります。日頃接することのない他学年との共同活動。各部活とも一つの目標に向かって活動することで、チームワークを高め、各々が成長し豊かな心を育みます。前号に続き部活体験談を紹介します。

放送部

私は入部

したところはとても未熟で、司会などもまだ上手くはできませんでしたが、この3年間で、先生方をはじめと多くの方の支えもあり、色々なことを経験させてもらいました。行事の司会や運営、番組制作など、他の部員や仲間たちとともに活動する中で、将来放送関係の道を目指す私にとって具体的な目標も見え、少しずつ上手くできるようになったことで自信にもつながりました。先生方や部員の仲間たちにはとても感謝しています。

林瑞紀(曾根中)



ESS

私は英語に興味があり ESS に入部しました。最初は恥ずかしくて先輩方の指導どおりに活動するばかりでしたが、活動していくにつれて、ESS では英語の勉強をするのではなく、英語を使うことを楽しむことができるようになりました。それからは積極的に発音練習や洋楽鑑賞を行い、敬愛祭ではダンスをしたり、洋楽を歌ったりしました。

この部活を通して、恥ずかしがらずに楽しむことが大切だと学ぶことができました。

森繁麗加(松ヶ江中)



美術部

私が今まで美術部として活動してきたことは、「みんなで集まって活動することの大切さ」です。1年の頃、まだ入部したてだった私に、先生や先輩方はいつも優しく接してくださいました。また、みんなで一緒に集まって絵を描くことで、お互いの作品を評価しあったり、励ましあったりしながら作品作りを進めることができ、そして何より楽しく活動出来ました。美術部に入部して本当によかったと思っています。

吉武信太郎(志徳中)

インターアクトクラブ

私は中学に入部してからずっとインターアクトクラブで活動してきました。毎月1回の門司駅前での清掃活動を中心に、他校との合同例会や24時間テレビでのチャリティー募金などが主な活動です。他の部活のように優勝を目指すといったものはありませんが、これらの活動を通じて社会との関係を考えることが出来たことは、自分自身の成長にとって大きなものでありました。頼りない部長でしたが、友達や後輩の支えに感謝しています。

栗原知美(敬愛中)



文芸部

文芸部のメンバーと一緒に詩や小説を書く活動を経て、私は自分の作品を本格的な形で発表することができました。自らの創作活動の中に「冊子にして発行する」というプロセスが加わっただけでも、多くの人との関わりがありました。顧問の先生に厳しく指導されることや、アイデアが出ないこともありました。部活動を続けたことで、自分の作品に誇りを持つことが出来るようになりました。

塚本遼太郎(守恒中)

茶道部

私は、抹茶が大好きです。それだけを理由に茶道部に入部しました。初めてお作法を習ったときは、難しさに焦っていたことを覚えています。そしてやつと身につけたときに、先生からあることを教わりました。「難しそうに見えるけど、実はそれが一番簡単で一番きれいな見える方法なのよ。」と。その言葉を聞き私は日本の芸術の奥深さをしみじみと感じました。無駄がなく質素であるのにどこか優雅さが漂う。私は、茶道が大好きです。

長掛英里子(敬愛中)



敬愛文化発表会 2015 in リバ

8月30日(日)、中学・高校の文化部が「敬愛文化発表会」を小倉北区のリバーウォーク北九州・エナジーコートで開催しました。文化発表会当日の様子と、各部活の紹介・体験談を合わせてご覧ください。

8月30日(日)、中学高校の文化部の企画により、今年も「敬愛文化発表会」をリバーウォーク北九州・エナジーコート(噴水広場)で開催しました。

展示部門とステージ部門をメインとし、他にはインターアクトクラブの募金活動、理科学研究部は小学生対象で万華鏡作りの工作教室など、盛りだくさんの企画でした。

日頃は時間的な制約があり、思うように活動できないこともありますが、各部活とも特徴を生かした発表ができるよう準備を進めて本番を迎えました。

一昨年から会場を校外に移したことで、発表に対する意識が高まり、どの部活も活動に変化が感じられるようになりました。また、回を重ねるごとに、各部とも進行の動きが機敏になり、部活の枠を超えて互いに協力し合う姿も見られました。先輩は後輩に上手く指示を出すことができおり、何をすれば良いのかを各自が考え、スムーズな進行に繋がりました。

これからますます発展していけるよう各部とも精一杯の活動をしていきます。温かく見守っていただき、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いします。

暑い中、多くの方にご来場いただき、ありがとうございました。

数科学研究部

私は6年間数科学研究部での活動を終え、本当に多くの貴重な経験が出来ました。数研部は主に数学オリンピックへ向けて、日々トレーニングをしています。普段の授業などでは扱わない独特な難問もあり、先輩・後輩の垣根をこえて話し合いながら一問を解き終えることもありました。本当にこの6年間は数学の楽しさ、美しさを知り、数学に魅了され続けた6年間でした。数研部を通じて出会った人に感謝し、ここでの経験を今後の人生に活かしていこうと思います。

森山夏帆(敬愛中)

理科学研究部

私は最初友達に誘われて入ったのですが、陽気で賑やかな先輩たちが温かく迎えてくださり、慣れなくて緊張している中でもすぐに打ち解けることができました。また、ヤマト運輸主催のプレゼンの大会では、半年間をかけて話し合いやインタビューなどを重ねて、時には衝突しつつも苦労して一つのものを作り上げました。もともと継続が苦手な私でしたが、これを通して計画的に物事を進めていくことなどを学ぶことができました。理研部に入部してよかったと思います。

藤原優花(思永中)



音楽部

私は中学に入学してすぐ、同じ小学校出身の先輩に誘われて音楽部に入部しました。私が入部したときは高校生しかおらず、自分の幼さを感じることも多くありました。先輩からは、部活内で意見がぶつかったときに、しっかりと話し合っただけで済んだことの大変さなどたくさん学ばせていただきました。また一つの目標に向かって協力することや、それを達成できたときの喜びなど、様々なことを経験することができました。この経験を今後活かしていきたいです。

森原彩葵(敬愛中)



小学校スクールライフ



校長挨拶

創立90周年に寄せて

鎮西敬愛学園は、今年度創立90周年を迎えました。この大きな節目と巡り会えるご縁を頂き感謝しております。これを機会に親鸞聖人のみ教えを建学の理念とする『心の教育』を一層深めると共に、時代の進化に即応した新しい教育の創造に努めて参ります。

敬愛小学校では、心の教育の一つとして、子どもたちが一日に何度も耳にするチャイムは『四弘誓願』のメロディーが50秒間流れることになっています。その度に、子ども達は着席・立腰・黙想をして、阿弥陀様と向き合い、授業に臨む心の準備をします。その間は、学校中が静寂な空気に包まれます。まさに『拝みながら学び、学びながら拝む』心の教育の一環であり、学校の誇りとする時間帯でもあります。



また、これから益々グローバル化していく国際社会にあつて、いかなることに遭遇しようとも、それを切り拓いていく逞しさを身につける教育は必須です。親鸞聖人のみ教えを学ぶ本校では、精神的な逞しさは、日々自然と身につけていく環境が整っています。知的な逞しさは、本校の研究主題である『豊かな自己表現

力を育てる多様な言語活動の育成―思考の過程を自分の言葉でノーに残す―ことを実践しています。

これからは、自分の考えを築き、積極的に社会にかかわり、他と協力・協働できる豊かな人間性を身につけ、社会で貢献できる人材が求められます。その基礎教育を担う小学校教育へと益々進化するように教育をして参ります。

創立90周年にあつて、心の教育と確かな学力の育成のために、一層の精進をすることを誓い致します。

敬愛小学校 校長 堀奈緒美



生活科校外学習 10/3



保護者会バザー 9/12



合唱コンクール銀賞 8/4

合唱部が第82回NHK全国学校音楽コンクールの福岡県コンクールに出場しました。本校の出場は今年で4回目になります。合唱部の子どもたちは朝、昼休み、放課後と毎日練習を重ねてきました。夏休み期間中も一生懸命練習に取り組みました。今回のコンクールでは銀賞を受賞。審査員の先生方からは「一人ひとりの声が輝いていました。」と評していただきました。子どもたちは、自分たちの歌声を評価してもらい、来年のコンクールに向けて一層やる気になっています。

今年もたくさん保護者のご協力をいただきバザーを行いました。年に一度のこの日を子どもたちだけでなく、保護者の方も楽しみにされていたようです。制服、体操服、本、手作りのマスクや巾着、雑貨などの販売があり、今年も大盛況で終わることができました。子どもたちは友だちと一緒に買い物をするのができ、楽しい時間となったようです。企画・準備・運営と多くの保護者の方にご協力いただき、ありがとうございました。

1・2年生がペアを組み、SLに乗ってりんご狩りに行きました。はじめは緊張している様子も見られましたが、2年生が上手にリードしてくれました。SLに乗車すると、「けむりがすごいね!」「汽笛が大きいね!」とたくさん発見をすることができ、りんご園では、農家の方に美味しいりんごの見分け方、育てる工夫などを教えていただきました。お気に入りのりんごを3つ収穫し、お家の方の喜ぶ笑顔を思い浮かべながら、ハンカチでピカピカに磨いていました。

幼稚園通信

第38回運動会

9月20日(日) 第38回敬愛幼稚園運動会が行われました。

真つ青な空の下で始まった運動会。クラス毎に目標を決め「ニコニコ笑顔で頑張る」「一致団結する」とそれぞれの目標に向かって頑張りました。



年初・年少組は初めての運動会の子どもたちが多く、お客様を目の前に緊張した様子もありましたが、可愛い笑顔で取り組む姿がありました。年中組はパラバルーンやマスゲームを通して友だちと一つのものを作り上げる喜びや達成感を感じることが出来たようでした。

年長組は組立体操やマーチングを披露しました。組立体

操では一人の技から六人組の技まで様々な技を披露し技が成功するたびたくさんの拍手を頂きました。子どもたちも自信に満ちあふれた顔つきで演技し最後には年長児全員で「スペシャルピラミッド」を完成させ、感動して涙を流している保護者

の方もいました。みんなで作り上げた運動会。大成功で終わることが出来、ひとまわり成長したように思います。

誕生会

月に一度その月に生まれた子どもたちを、全園児で祝う誕生会を行っています。全園児の前でステージに立ち、自己紹介をしたり、将来の夢を話したりします。また自分が得意なことや頑張っていることをそれぞれに発表しています。縄跳びや鉄棒、あやとり、絵描き歌等内容は様々で、見ている子どもたちも一緒に楽しんでいます。



創立 90 周年に寄せて

敬愛幼稚園は、昭和53年に鎮西女子高校の付属幼稚園として開園し、今年38周年を迎えさせていただきました。恵まれた環境の中、敬愛独自のカリキュラムで、ひとりひとりの個性を尊重し、強く逞しく、心豊かな子どもにも育ってほしいという思いで、教育をさせていただいております。

敬愛小学校、中学校、高等学校の児童生徒との交流会も付属校ならではの授業で、日頃異年令の子どもと接することの少ない、子どもたちにとっては、大変よい機会でもあります。歴代の園長、藤井敏哉先生、池田成彬先生、鬼木幹也先生、中原稔先生は、私の在学中の恩師でもあり、共に仕事ができたとご縁の有り難さを感じます。これからも先生方の思いを受け継ぎ、次代に担う仏の子を育てさせていただきます。

敬愛幼稚園 園長 沼登志子 合掌

芋ほり

年長児が毎年恒例の芋ほりへ行きました。毎年地域の方のご厚意で芋ほりを体験しています。畑へ着くと土の中から顔を出している芋を見つけ、嬉しそうに掘り、大事そうに抱きかかえていました。畑周辺の草花や野菜の栽培にも関心を持ち、観察する姿もありました。秋の自然を感じる機会になったようです。



法話

いっしじ
一子地

浄土真宗本願寺派

西蓮寺 住職

黒田 幸裕 師



平成八年三月より、教誨師を拝命しております。刑務所や拘置所などに行き、犯罪者の矯正のお手伝いをさせて頂いております。大谷光真前ご門主が現在、全国教誨師連盟総裁を務めておられます。

犯罪について最近よく聞く話に、少年事件や犯罪が凶悪化しているということがあります。ところが事実とは逆で、日本の凶悪犯罪は減少しています。特に若者の凶悪犯罪は少なくなってきましたので、むしろ安全な社会に住んでいるといえるのです。そうであればこそ数少ない深刻な事件が報道されることとなってしまい、世の中は危険な状態になってきたという印象を持ってしまうのです。

犯罪そのものを過剰に意識するのには、地域社会の繋がりが乏しく、普段孤独を感じてしまっているところに、事件の刺激を受けるといつ

いそれが全体であるかのように感じとってしまうという私たち自身の問題もあるでしょう。

また社会全体の傾向として、厳罰化が進んでいます。一つには、罪を犯した人たちは、どこか遠くに閉じ込めておいた方が良いという考え方があります。ですから、すぐに刑罰を与えて手の届かないところに連れて行って欲しいという感情です。これは、自分たちとは異なるものとして、排除してしまおうという傾向であると思います。自分たちとは違うものは許せないという感情でもあるのです。また一方では、罰を重くするということとは、被害者の感情を元に厳罰化しているのだという理由付けをする傾向もあります。

では、矯正施設にいる犯罪者は救われなくても良いのでしょうか？そんなことはないと思います。たとえ話になりますが、重い病気の状態の患者こそ、医者は手厚く看病しなければならぬでしょう。軽症の患者さんよりも早く医療に取り掛からなければならぬのではないのでしょうか。世の中で一番深刻な問題を抱え

ている受刑者こそ、救われなければならないのではないのでしょうか。罪を犯した人には救いの道は無いと、排除してしまってはならないのです。そのような人こそ阿弥陀さまのはたらきは、より大きな意味を持つていくのです。

教誨の場でよく引き合いに出させて頂きます親鸞聖人が書かれた「和讃（仏さまやその教えをほめ讃える歌）」があります。

「平等心をうるるときを
一子地となづけたり
一子地は仏性なり
安養にいたりてさとるべし」

たとえば犯罪を犯した人でも、それがどんな罪であっても、阿弥陀さまの目はひとり子のように憐れみの心を持って救おうとなさつていらつしやるのです。まさにそのことこそ平等の心から起こる救いであることを、しっかりと捉まえて欲しいものです。

中学高校部活紹介（文化部編 Part2）

吹奏楽部

私は、中学校に入学してすぐ吹奏楽部に入部しました。その時の吹奏楽部は創部間もない頃で、先輩の数が少なく、ついて行くと言うより、全員で部活を作っていくという感じでした。

入部したての頃は、とにかく部活が楽しくて、部活のために学校に行っているような毎日でした。しかし、部活を続けていくうちに、沢山の悩みが出て、楽しいことばかりではなくなりました。全員で一つのものを作りあげることの難しさ、学年を越えた人との接し方、諦めないことの大切さなど、まだまだ沢山のことを学びました。だからこそ、色々考え、経験し、強くなつていったのだと思います。

6年間、吹奏楽部の部員として活動できて、幸せでした。

後藤彌咲（敬愛中）



宗教研究部（雅楽部）

私たちは、宗教部に入部して初めて雅楽に触れました。その難しさに戸惑いながらも、先生方や先輩方のご指導のおかげで少しずつ上手に演奏できるようになり、多くの発表の機会も頂きました。うまくいかないこともありましたが、その反省を生かして練習に励みました。そして今は先輩方からも認めもらえるような音色を奏でることができるようになりました。高校生になつても、雅楽ができることに感謝し、全国大会に出場した先輩の実績を越えられるように頑張ります。

渡邊桜風（桜丘小）

野中美幸（小森江西小）



卒業生からのメッセージ

昭和19年度卒業 藤岡 佐規子さん

鎮西敬愛学園創立90周年という栄えある節目に「慈恩」を通して在校生のみなさんにコメントの機会を頂き有難うございます。私は70年前の春、旧鎮西高等女学校の卒業式を空襲のため中断され、卒業証書を頂くことが出来ず、過日、学園のご高配で66年ぶりの卒業式を挙げて頂いた29人の中の一人です。

全校挙げての心暖まる式典は、4年を経た現在でも熱い感動が込みあげ、鎮西に学んだ幸せと平和の有難さをしみじみ思います。

この70年間、世界のあちこちで絶えず紛争が発生し、戦乱の巷で苦しむ難民が後を断たない状況の中で、日本だけが戦争の悲惨を繰り返すことなく平和に生活できたのは、憲法



の存在があったからこそと信じていますのに、この原稿を書いている最



れない思いでいます。戦争が人への優しさを奪い異常な心理状態をもたらすエピソードは数限りなく思い出す

ことが出来ます。在学中敬愛していた英語の先生は敵国語は不要と追放され、進学組は動員逃れの非国民となじられました。

京都女専に入學した最初の夏休みは、広島に新型爆弾が落とされ、山陽線不通で山陰線へ帰郷、三日目に着いた門司で終戦を知りました。

日本中が焦土と化して茫然自失の大人たちが氣を取り直して国土復興に立ち上がったのは、子どもたちに唯一の灯りを見出したからでした。

子ども達の健全育成のための法律が出来、戦前から父の起こしていた保育事業を継ぎ、爾来保育一筋の人生の中で、心のあけぼの期といわれる乳幼児期の保育こそが人間の根っこを育てる重要な時期であること、そこに関わる保育者の社会的地位の向

上のため専門性の確立の三つを自己課題とし、発達の調査・研究結果を基に



保育条件の整備に取り組んで来ました。その過程で保育と女性問題は切り離せない問題であることに気づき、ナイロビや北京で開催された世界女性会議にも参加、平和・平等・開発をテーマとする課題にも取り組み、北九州市女性史編纂実行委員会会長としてその任に当りました。変つてはいけないものを「不易」とし、社会・経済等の変化を「流行」と捉えています。子どもの育つ筋道、そして平和・平等は「不易」のものであります。それを信じて86歳の現在も講演や執筆で人々に訴え続けている私の心の奥にあるのは、鎮西時代毎朝の朝令で弾いた恩徳讃です。やり直し卒業式の時もうたった恩徳讃の旧メロディーが、いつも私をなぐさめ励ましてくれます。鎮西敬愛学園で学ぶあなた方が生かされて生きる報恩感謝の念を是非平和・平等を訴え続ける行動で表してください。

柔道部 市長・市議会表敬訪問

10月16日（金）に柔道部が北九州市役所を訪れ、金鷲旗優勝、全国高等学校総合体育大会団体戦準優勝、個人戦で新森さん優勝の結果を、北橋市長および市議会に報告する時間をいただきました。表敬訪問では、生徒一人一人が試合の感想を述べ、主将の梅津さんは、「仲間と優勝できたことがうれしい」と語っていました。

北橋市長、戸町市議会議長は試合や練習のこと、柔道を始めたきっかけなどを質問され、始めは緊張していた生徒も徐々に笑顔で受け答えをしていました。吉元先生は、来年は全国大会3冠目指して頑張りますと話していました。

来年も優勝目指して頑張ってください。



敬愛祭

Step by Step
～次の時代への挑戦～



9月12日(土)・13日(日)、敬愛祭が行われました。1日目は別院にて全校生徒で、部活動とクラスのステージ発表の鑑賞を楽しみました。2日目は一般公開をし、ステージ発表に加え、地域の方々のご協力のもと様々な展示や販売を行い、どれも大盛況で賑わっていました。全校生徒による巨大爪楊枝アート制作や閉会式でのみな歌(全校生徒による合唱)では、全員で力を合わせひとつのものを創り上げる素晴らしさや達成感を感じたようです。

敬愛祭を通して、今の自分たちがいるのも多くの方々の支えのおかげだと、創立90周年という節目の年に再確認できたことと思います。その感謝の気持ちを忘れず、今後も充実した学校生活を送ってほしいと思います。



今年度は学園創立90周年にあたり、「Step by Step ～次の時代への挑戦～」をテーマにさまざまな取組が行われました。私自身、こんなにも大切な年の実行委員長を任されて、不安が募るばかりでしたが、先生方や実行委員をはじめ、たくさんの人達に支えられ、敬愛祭を成功させることができました。生徒一人一人が新しいことに挑み、また一歩成長できたと思います。飛躍し続ける敬愛祭、100周年を迎える頃にはどんな進化がまっているのか楽しみです。

敬愛祭実行委員長 村上月華



敬愛中学校・敬愛高等学校 平成28年度入試日程

敬愛中学校

入試日 1/7 木

◇募集定員 九大医進Jコース 20名
特進コース 60名

◇試験科目
一般入試→両コース共通
国語・算数・社会・理科

自己推薦入試

合格後は本校へ必ず入学する意志をお持ちの方が対象

九大医進Jコース

国語・算数・理科・社会+面接

特進コース

国語・算数+面接

◇合格発表 1/9 (土)

◇手続き日 (自己推薦) 1/12 (火)～1/14 (木)
(一般) 1/12 (火)～1/21 (木)

敬愛中学・高等学校 授業見学・学校説明会

11/28 土 12/5 土

校舎・授業の様子がご覧いただけるオープンスクールです。入試などのご相談も可能です。

11月28日は、本校特任講師の的場亮先生による入試直前講演会を実施いたします。ご希望の方は、学園に前日までにお電話でお申し込みください。

敬愛高等学校

一般入試 入試日 2/3 水

◇募集定員 九大医進コース 30名
一般と推薦の総数 特進Sコース 30名
特進コース 30名
進学コース 90名

◇試験科目

国語・社会・数学・理科・英語

※英語検定・数学検定加点制度有り

◇合格発表 2/8 (月)

推薦入試 入試日 1/26 火

A推薦

英語+国語・数学より1教科選択
(九大医進・特進Sコースは3科目)

B推薦

面接

※出願資格 3年生2学期の平均評定が下記の基準を満たす生徒
(特待・九大医進) 4.5以上 (特進S) 4.0以上
(特進) 3.5以上 (進学) 3.0以上

◇合格発表 1/28 (木)

◇手続き〆切 2/2 (火) 16時まで